



ヨネさんが聞く！

札幌市のお金って どうなってるの？

平成14年度決算が、市議会で認められました。皆さんが納めている税金がどのように使われているのか。「財政状況が厳しいことは知っているけど、詳しいことはよく分からないねえ…」と、市の広報番組でおなじみのヨネさんが市長に聞いてみることに…。そこで、ヨネさんと一緒に決算の概要を見ながら、市のお財布の中を見てみましょう。また、今年度予算上半期の執行状況も合わせてお知らせします。

ヨネさん

「上田市長、札幌市は借金をいっぱい抱えて、大変なことになっているそうだね。私は、市のお金のことがさっぱり分からないんだよ。いったいどうなっているんだい？」

市の借金の実態をみる



「ヨネさんは「市債」という言葉を聞いたことがありませんか？市が国や銀行から借りているお金、つまり借金の

「ヨネさんは「市債」という言葉を聞いたことがありませんか？市が国や銀行から借りているお金、つまり借金の

ことを「市債」といいます。平成十四年度末の市債の残高は、二兆二千五百七十三億円。一般の家計から見ると、あまりにもけたが違い過ぎますね。このたくさんのお金には、幾つか種類があり、それぞれに増えたり減ったりする理由があるんです。

この特集に関するお問い合わせは
財政部 ☎211-2216へ

ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/city/soshiki/zaisei.html>

※本文中の表は、各項目ごとに数値を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

豆知識

「市のお財布は三つある」

皆さんが、お金を出し入れするのに便利なお財布を持っているように、市にも、お金の出し入れを管理するためのお財布（会計）があります。

入ってくるもの（歳入）と出ていくもの（歳出）、市のすべてのお金は、それぞれの性質によって3つに分けられているんです。

◆第一のお財布「一般会計」

「特別会計」と「企業会計」には含まれない、すべての歳入・歳出を管理しているお財布です。教育、福祉、ごみの収集、道路の整備など、市の基本的なお金の流れが分かるもので、市の会計の中心となっています。 [6・7頁]

◆第二のお財布「特別会計」

国民健康保険料や介護保険料など特定の収入があり、収支をはっきりさせるために、一般会計とお財布を分けて管理しています。 [8頁]

◆第三のお財布「企業会計」

地下鉄、バス、水道、病院など、民間企業と同じように、利用料金などの事業による収益で運営しています。 [8・9頁]

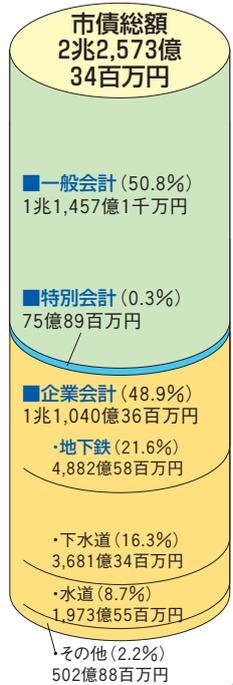
札幌市 広報番組 「いいコト聞いた(UHB)」

放送日時 毎月第2・4日 曜午前8時55分～9時

いつも元気なヨネさんが、市民との出会いを通して暮らしに役立つ情報をお伝えします

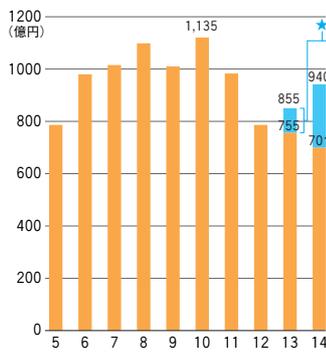
TV
放送中

▼市債残高の状況



市民一人当たりでは…
122万8千円の借金
 ◎一般会計 62万3千円
 ◎特別会計 4千円
 ◎企業会計 60万1千円

▼市債発行額（一般会計）



上図は、年ごとに新たに借
 金した額（市債発行額）を示
 します。事業などの見直しを
 進めたことにより、平成11、
 12年度は減りました。「臨時
 財政対策債（★）」という新
 たな借金が加わり増えています。
 これは、景気の低迷など
 により国がこれまで通りに交
 付税を配ることが難しくなっ
 たため、不足分をいったん市
 が借金して補うもので、返済
 分は後で国が交付税として補
 う仕組みになっています。

家庭での住宅ロ
 ーンなどのように、
 市でも、みんなが
 使う道路や公園などの公共施
 設を造るときには、投資家の
 方や市民の皆さんなどから借
 り入れ（借金）をしてその資
 金を確保しています。それに
 は、次のような考え方があ
 ります。



どうしてこんな
 に増えてしまっ
 たんだい？

二つ目は、費用の負担を公
 平にするためです。公共施設
 は、生活に必要で長く使える
 もの。造った時の市民が、全
 額を負担するのではなく、借
 金をして、施設を利用でき
 る間に少しずつ返していく。そ
 うすることで、利用する人た
 ちの負担は平等になります。
 それでは、どうしてこんな
 にも借金が増えたのか。人口
 の増加や市民からの要望への
 対応、国の景気対策に合わせ
 て積極的に進めてきた都市基
 盤の整備といったことにより
 市の借金はこのように積み上
 がってきました。

地下鉄の借金の
 原因とその影響

多額な建設費

地下鉄は、都市基盤の整
 備に合わせて建設を続けて
 きた結果、3路線を合わせ
 ると約7千億円もの建設費
 が掛かっています。地下鉄
 の建設には補助制度があり
 ますが、補助金が一括では
 なく分割で支払われたため
 建設費を支払うのに多くの
 借金をしなければならず、
 建設費の約8割が借金とな
 っています。

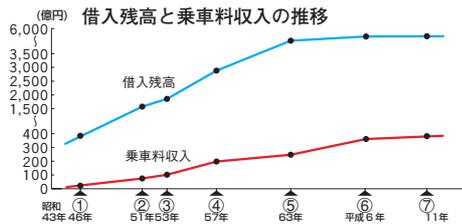
現在の状況

地下鉄の借金は、ほかの
 公共施設と同じく長い期間
 をかけて返していきます。
 平成14年度には約300億円を
 返していますが、まだ約5
 千億円もの借金が残ってい
 ます。その約3割は、利率
 が5%を上回る高利率の借
 り入れなので、利息の支払
 いも約200億円となり、赤字
 の大きな原因となっています。
 乗車人員が伸び悩む中
 で、多額の借金の返済は大
 きな負担となっています。

716
 詳細 交通局財務課 ☎(896) 2

南北線	麻生 北24条 真駒内	③2.4km	①12.6km
東西線	新さっぽろ 白石 琴似 宮の沢	④7.3km	②10.7km
東豊線	栄町 豊水すすきの 福住	⑤9.0km	⑥5.5km

※①～⑥は路線の開通時期（右図）を示します。



借金は
 返せるのかい？
 借金はきちん
 返さなければなり
 ませんが、年によ
 って返済額が大きく変わると
 財政運営が大変です。そこで、
 二十年に分けて計画的に「減
 債基金」に積み立てて、現実



に返せるようにしているん
 ですよ。

一方、地下鉄や下水道など
 の企業会計は、基本的にそれ
 ぞれの料金収入で、それぞ
 れの借金を返すことになっ
 ています。ですが、地下鉄につ
 いては、利用者数の減少や不況
 などにより、料金収入だけで
 は十分ではありません。そこ
 で、大切な「市民
 の足」の機能が止
 まってしまわない
 ように、違うお財
 布の一般会計から
 市税の一部を回し
 て、なんとかやり
 くりしているのが
 現状です。

「やあ、ヨネさん。私も市の財政がとても
 厳しい状況にあることを、市民の皆さんに
 お伝えしなければと思っていました。市役
 所の仕事は幅広いので、全体像をつかんで
 もらうのがなかなか難しいのですが、でき
 るだけ分かりやすく説明します」

札幌市長
 上田 文雄

※基金については9頁



平成14年度決算からのお金の仕組みをみる

決算って何だい？



毎年、年度初めに、一年間にどのくらいのお金が入ってきて（歳入）、どのよう

収入源にはどんなものがあるの？



三つあるお財布のうち、一般会計の収入を見てみましょう。

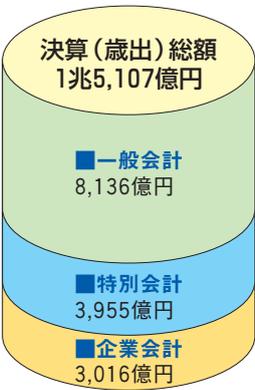
うか（歳出）を決めて、皆さんにお知らせしています。これが「予算」です。市が行う仕事は予算によって決まっているんです。

そして、一年間で実際に入ってきた金額や、どのようなことにいくら使ったのか、借金や貯金などはどのくらいなのか、といったことも明らかにしています。これが「決算」です。

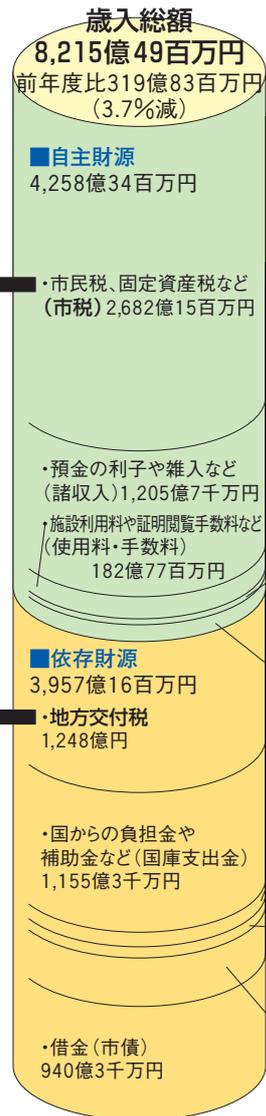
市では、皆さんからの税金がどのように使われているかをさちんとお知らせすることになっていくんです。

市の収入の基本となっているのは、皆さんが納める「市税」です。全体の約3割を占める重要な収入源ですが、景気の低迷や減税などにより、平成九年を境に減少しています。

このほか、国が集めた税金の一部が配られる「地方交付税」があります。これは、全国どこに住んでいても一定水準の行政サービスを受けられるようにするため、市税の収入が少ない場合に、その不足分を補うものです。でも、国の税収の落ち込みや地方分権の観点から、制度の見直しが進められているんです。実際、地方交付税の金額も減ってきています。これまでものように国に頼ってばかりではいられなくなってきました。



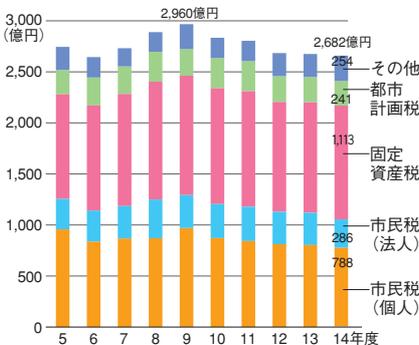
平成14年度は、主に、経済の活性化や少子高齢社会に対応した地域福祉の推進、環境と調和した豊かな暮らしの実現など、重点的に進めなければならない6つの課題に取り組みしました。



市税

前年度比6億2千万円減(0.2%減)

◇市税のうち、市民税と固定資産税がそれぞれ4割を占め、大きな柱となっていますが、不況などにより、ともに減少傾向が続いています。

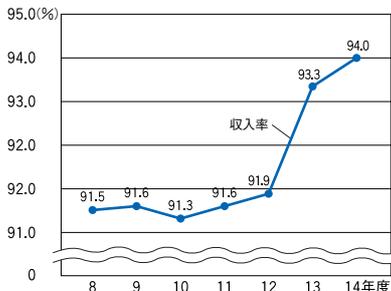


▲市税の内訳とその推移

市民一人当たりの市税(12政令指定都市の比較)

最高	大阪……25万5千円	：
	名古屋……22万1千円	京都……17万2千円
	川崎……20万9千円	北九州……15万7千円
	：	最低
		札幌……14万6千円

◇納税対策強化の取り組みにより収納率は上がったものの、不況により市税の決算額が下がっています。



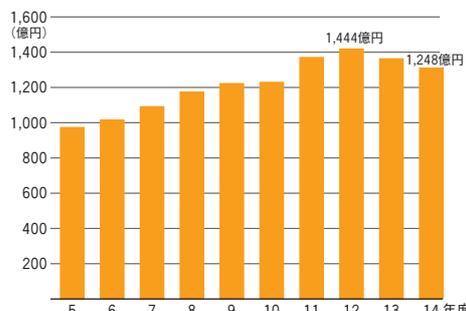
▲市税の収入率

地方交付税

前年度比100億8千万円減(7.5%減)

◇国からのお金のうち、使い道が限られている「国庫支出金」とは違い、「地方交付税」は市が自由に使うことができるものです。

しかし、平成13年度から、地方交付税の不足分を各市町村が借金(臨時財政対策債5券)をして補うことになったため、額が減少しています。



▲地方交付税額の推移

○市の収入は、市税など市が自ら調達できる「自主財源」と、国から交付されたり、借り入れたりする「依存財源」とに分類されます。

国からのお金に頼ることが難しくなってきたことから、収入全体に占める「自主財源」の割合を高くしていくことが大切です。



▼一般会計・歳出

歳出総額8,136億36百万円

前年度比327億65百万円(3.9%減)

目的別でみた歳出

■福祉、保健、医療など(保健福祉費)
1,696億14百万円

■道路や公園の整備など(土木費)
1,264億52百万円

■ほかの会計への繰出金など(諸支出金)
1,184億99百万円

■職員の給与や手当(職員費)
1,111億67百万円

■市債の返済など(公債費)
922億41百万円

■観光、農業の振興など(経済費)
905億17百万円

①

②

③

④

⑤

⑥

- ① 学校教育、生涯学習など(教育費) 397億61百万円
- ② 区役所などの運営管理・整備など(総務費) 346億73百万円
- ③ 環境保全、ごみ処理など(環境費) 192億27百万円
- ④ 消防活動、防災など(消防費) 80億99百万円
- ⑤ 雇用対策、勤労者の支援など(労働費) 18億14百万円
- ⑥ 議会の運営など(議会費) 15億72百万円

性質別でみた歳出

■公共の施設の建設など
(普通建設事業費)
1,491億9千万円

■生活保護、医療助成など(扶助費)
1,333億52百万円

■職員の給与や手当(人件費)
1,195億2百万円

■市債の返済など(公債費)
916億31百万円

■中小企業への貸し付けなど(貸付金)
967億47百万円

■ほかの会計への繰り出しなど(繰出金)
554億36百万円

■委託料、維持補修など(その他)
1,677億78百万円

A ■投資的経費 1,491億9千万円

B ■義務的経費 3,444億84百万円

C ■その他の経費 3,199億61百万円

保健福祉費

◎前年度比67億64百万円減

増 生活保護、児童扶養手当支給事務

減 国民年金事務

土木費

◎前年度比11億83百万円減

増 市営住宅の建設

減 道路新設改良事業、街路事業

公債費

◎前年度比31億58百万円増

増 市債の返済額

経済費

◎前年度比7億2千万円増

増 札幌コンベンションセンターの建設

教育費

◎前年度比39億5千万円減

減 小学校新築や高等学校の改築

普通建設事業費

◎前年度比140億27百万円減

増 市営住宅や札幌コンベンションセンターの建設

減 道路・街路事業、白石清掃工場の建設

扶助費

◎前年度比89億28百万円増

増 生活保護、児童扶養手当

人件費

◎前年度比71億41百万円減

減 職員給与、退職金

公債費

◎前年度比30億89百万円増

増 市債の返済額

貸付金

◎前年度比8億66百万円増

増 中小企業への金融対策支援

繰出金

◎前年度比17億21百万円減

減 国民健康保険や地下鉄への繰り出し

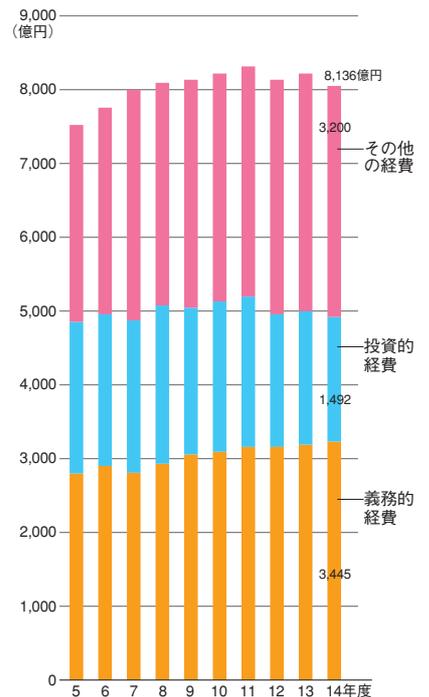
「どんなこと」
使っているの？

市のお金の使い道は、予算によって決まっています。とお話ししました。実際に、どのようなことに、どれだけのお金が使われたのかについて

では、二つの見方をすることができまます。

一つは、福祉や教育など、分野別に見ることが出来る「目的別」。もう一つは、分野を区別しないで、全体としての人件費や公共事業費など経費の内容別に見ることが出来る「性質別」です。

歳出



▲義務的経費と投資的経費の割合の推移

○性質別の「義務的経費」とは、支出しなければならない経費をいい、簡単に削減することができないものです。歳出の4割を占めるこの経費が、市では増加の傾向にあるため、歳出の額を抑えることがとても難しくなっています。

▼特別会計の状況

区 分	歳 入 (A)	歳 出 (B)	差引残高 (C=A-B)
土地区画整理会計	104億66百万円	104億56百万円	9百万円
団地造成会計	1億83百万円	1億83百万円	0円
駐車場会計	3億62百万円	3億62百万円	0円
母子寡婦福祉資金貸付会計	3億44百万円	2億23百万円	1億21百万円
国民健康保険会計	1,379億97百万円	1,409億6百万円	-29億9百万円
老人医療会計	1,716億7千万円	1,727億52百万円	-10億82百万円
介護保険会計	665億64百万円	668億61百万円	-2億96百万円
基金会計	9億9千万円	8億51百万円	1億4千万円
公共用地先行取得会計	7億66百万円	18億71百万円	-11億5百万円
砂防用地先行取得会計	8億31百万円	8億56百万円	-25百万円
交通災害共済会計	3億28百万円	1億53百万円	1億75百万円
合 計	3,905億1百万円	3,954億74百万円	-49億72百万円
公 債 会 計	3,817億15百万円	3,817億15百万円	0円

※財政運営の状態を表す実質的な収支（実質収支）は差引残高と同額です。
公債会計はほかの会計で計上されたものを再掲しているため、合計には含めていません。

十二の会計があります。それぞれの歳入・歳出は次の通りです。

「特別会計」には、二つ目のお財布「特別会計」には、目的ごとに全部で

特別会計にはどんなものがあるの？

■特別会計
歳入総額
3,905億1百万円
歳出総額
3,954億74百万円

＜主な会計の内容＞

<p>老人医療会計</p> <ul style="list-style-type: none"> ○月平均受給者数：18万4,420人 ○医療費総額：1,710億75百万円 ○一人当たりの医療費：92万7,636円 	<p>国民健康保険会計</p> <ul style="list-style-type: none"> ○加入世帯数：30万8,041世帯 ○被保険者数：53万6,823人 ○医療費総額：2,435億23百万円 ○一人当たりの医療費：45万3,637円 	<p>介護保険会計</p> <ul style="list-style-type: none"> ○被保険者数(第1号)：28万9,333人 ○給付費総額：633億4百万円 ○一人当たりの給付額：21万8,791円
<p>土地区画整理会計</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地区数(公共施行)：5地区(東さっぽろ、西宮の沢、富丘西、東雁来第2、新琴似駅前) ○土地区画整理費(上記)：90億2千万円 	<p>砂防用地先行取得会計</p> <ul style="list-style-type: none"> ○砂防用地取得面積：58,960㎡ ○用地取得額：5億78百万円 	<p>公共用地先行取得会計</p> <ul style="list-style-type: none"> ○代替用地取得面積：8,043㎡ ○用地取得額：4億23百万円
<p>母子寡婦福祉資金貸付会計</p> <ul style="list-style-type: none"> ○貸し付け件数：548件 ○貸し付け総額：2億23百万円 	<p>交通災害共済会計</p> <ul style="list-style-type: none"> ○加入者数：17万5,004人 ○加入口数：23万9,904口 ○見舞金総額：7,874万5千円 	<p>駐車場会計</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駐車場数：2カ所(札幌駅北口地下駐車場、円山公園駐車場) ○利用台数：47万9,929台 ○利用料：3億37百万円

区 分	市立病院	中央卸売市場	市バス・市電	地下鉄	水道	下水道	合 計
収益的収支(A)							
収 入	207億58百万円	20億2百万円	68億41百万円	441億12百万円	456億77百万円	472億81百万円	1,666億72百万円
支 出	220億48百万円	22億86百万円	107億96百万円	592億93百万円	442億25百万円	479億36百万円	1,865億85百万円
差し引き	12億9千万円不足	2億84百万円不足	39億55百万円不足	151億81百万円不足	14億52百万円	6億55百万円不足	199億12百万円不足
利益・損失の累計額(B)	127億8千万円損失	29億83百万円利益	46億45百万円損失	3,232億87百万円損失	36億81百万円利益	234億73百万円損失	3,575億22百万円損失
資金残・不足額(C)	15億12百万円	65億84百万円	27億8百万円不足	30億円不足	90億1百万円	67億18百万円	181億7百万円

▲企業会計の状況

A：「収益的収支」とは企業の経営活動に伴う収入と支出です。収入には料金などが含まれ、支出には人件費や借入金の利息などが含まれます。これに対し、借入金(借金)や国からの補助金などによる収入

と、施設の建設や改良などのための支出のことを「資本的収支」といいます。

B：年度ごとの収益的収支で発生した利益や損失を累計した額。

C：資金のやりくりの状況を表した額。

歳入は次の通りです。全部で六の会計があります。それぞれの歳入・歳出は次の通りです。

「企業会計」には、三つ目のお財布「企業会計」には、全部で六の会計が

企業会計にはどんなものがあるの？

■企業会計
歳入総額
2,854億56百万円
歳出総額
3,015億74百万円

※歳入は収益的収入、資本的収入、当年度留保資金の合計で、歳出は収益的支出と資本的支出の合計です。



▼財産の状況

公有財産	
土地	3,988万4,387㎡
建物	542万8,241㎡
航空機(消防ヘリコプター)	1機
物権	5,647㎡
無体財産(特許権など)	126件
有価証券	49億2,526万円
出資による権利	53億6,642万円
物品	4,120点・台
債権	134億9,422万円

▼主な基金の状況

財政調整	111億66百万円
減債	922億61百万円
土地開発	698億44百万円
まちづくり推進	201億37百万円
奨学	10億33百万円
リサイクル推進	5億5百万円
合計	2,097億5百万円



○財政調整基金は、決算額が予算額を下回ったときなどに積み立てており、財源が不足するときや、緊急の事業を行うときなどに使うためのお金です。

備えが多いほど将来の計画も立てやすく、市の運営も楽になります。少ないと非常時に対処できなくなってしまいます。

○減債基金は、借金を返すためのお金です。

貯金も財産もありますよ。市の貯金のことを「基金」といいます。基金でもっている資金を運用して得た利益

貯金も財産もありますよ。市の貯金のことを「基金」といいます。基金でもっている資金を運用して得た利益

貯金や財産ってあるの？

益で特定の事業を行っているものや、財源不足や緊急時に使うものなど、いろいろな基金が全部で二十あります。また、財産は土地や建物など九種類あります。学校や公園、道路のほか市役所や区役所などが含まれています。

■基金
現在高総額
2,097億5百万円

※決算剰余金を積み立てた後の額です。

▼一時借入金残高 (15年3月末現在)

一般会計	0円
特別会計	7億25百万円
企業会計	19億1千万円
合計	26億35百万円

◇年度の途中で、市税などの収入より支払いが先行するときなど、一時的に銀行などから借り入れるお金のこと。

<各会計の内容> (平成14年度に実施した主なもの)

<p>市立札幌病院</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線治療装置などを購入 全診療科で予約診療を開始 	<p>中央卸売市場</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧水産棟の解体工事に着手 水産棟1期工事のしゅん工
<p>市バス・市電</p> <p>市バス・自動車運送事業での規制緩和に伴い民間との均衡を考慮して一般会計補助金の見直しを実施</p> <p>市電・老朽化した軌道や舗装面の改良などを実施</p>	<p>地下鉄</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームからの転落者などを車両に知らせる非常警報装置をさっぽろと大通、すすきの駅に整備 東西線に新型車両を導入 駅施設の改良工事を実施
<p>水道</p> <ul style="list-style-type: none"> 藻岩浄水場の改修工事を終了 2カ月検針実施区を拡大 	<p>下水道</p> <ul style="list-style-type: none"> 水質保全のため伏古川処理場の高度処理 浸水対策として拡充管路整備 地震対策として汚泥圧送管整備 平成14年度末に解散した札幌市石狩市茨戸下水道処理場管理組合の決算を実施

札幌市のバランスシート

バランスシートとは…

市が所有している資産がどれくらいあり、その資産を形成するために要した負債や税金などの財源はいくらなのかを示すのが「バランスシート」です。

左の「借方」では、これまで市が建設してきた学校や道路に使ったお金など（資産の累計額）が分かります。右の「貸方」では、それらの資産についてすでに取得している金額（正味資産）と、これから支払わなければならない額（負債）がどれくらいあるのかが分かります。

行政コスト計算書とは…

バランスシートが示す資産や負債を除き、行政のさまざまなサービスを提供するのに、どれくらい費用（コスト）がかかっているのかを示しています。

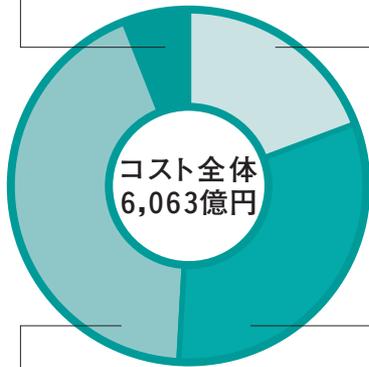
※一般会計と特別会計の一部を合算した「普通会計」で算出しています。

▼平成14年度行政コスト計算書

(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

その他のコスト
◎市債、一時借入金の利子、不納欠損額
360億円 (5.9%)

人にかかるコスト
◎人件費、退職給与引当金繰入など
1,167億円 (19.3%)



移転支的コスト
◎扶助費、補修費、繰出金など
2,618億円 (43.2%)

物にかかるコスト
◎物件費、維持補修費、減価償却費など
1,918億円 (31.6%)

市民一人あたりでは… (平成15年3月31日現在の人口)

◎人にかかるコスト 6万円
◎物にかかるコスト 11万円
◎移転支的コスト 14万円
◎その他のコスト 2万円

コスト合計 33万円

平成14年度の コスト合計は6,063億円で、一人あたりでは33万円です。

▼普通会計のバランスシート

(平成15年3月31日現在)

資産や負債などの状況

借方◎資金の使途 資金を何に使ったか	貸方◎資金の調達 資金をどこから調達したか
■資産 ①学校や道路の建設などに使われたお金や、そのための土地代など。 ①有形固定資産 2兆8,565億円 ②関係団体への出資金や、貯えているお金など。 ②投資など 2,905億円 ③現金や、必要な時に現金にできるものなど。 ③流動資産 493億円 資産合計 3兆1,963億円	■負債 (これからの世代が負担していく) ④地方債(市債) 1兆723億円 ⑤退職給与引当金 1,159億円 負債合計 1兆1,882億円 ■正味資産 (これまでの世代が負担してきた) ⑥国庫支出金 5,213億円 ⑦道支出金 353億円 ⑧一般財源など 1兆4,515億円 正味資産合計 2兆81億円 負債・正味資産合計 3兆1,963億円

市民一人あたりでは… (平成15年3月31日現在の人口)

借方	貸方
資産 ①有形固定資産 155万円 ②投資など 16万円 ③流動資産 3万円 資産合計 174万円	負債合計 65万円 正味資産合計 109万円 負債・正味資産合計 174万円



そんな厳しい状況の中でも、さまざまな課題に取り組んでいかなければなりません。市では、市役所内部の見直しをより積極的に進めることはもちろんですが、限られたお金の使い道や、市民や企業の方との役割分担などについて、市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。



今後はどうなるの？

今後、市のお財布の中はどうなっていくのかを、一般会計について予想してみました。平成十六年度予算をつくるに当たって一定の条件下で計算したところ、平成十六年度から十九年度の各年度に生まれる不足額は、百億円から三百億円となることが見込まれます。



平成15年度予算の執行状況から現在の動きをみる

■平成15年度予算の上半期執行状況

▼一般会計 (単位: 百万円)

〔歳入〕		〔歳出〕	
予算現額	執行率(%) 収入済額	予算現額	執行率(%) 支出済額
市 税 258,000	51.8% 133,626	保健福祉費 183,141	46.3% 84,720
国庫支出金 129,770	31.1% 40,359	諸支出金 132,304	33.7% 44,535
諸 収 入 126,532	9.1% 11,473	土 木 費 125,102	28.4% 35,476
地方交付税 110,000	77.0% 84,720	職 員 費 111,322	44.5% 49,581
市 債 99,427	53.0% 52,728	経 済 費 85,007	80.6% 68,510
そ の 他 108,303	46.5% 50,335	そ の 他 195,156	36.0% 70,286
合 計 832,032	44.9% 373,241	合 計 832,032	42.4% 353,108

今後は、どんなふうなんだい？

今年度は、市長と市議会議員の選挙があったので、まず、支出を義務付けられているものや、継続して行っている事業を中心に、予算をつくりました（骨格予算）。そして、私が市長に就任した後、公約で皆さんとお約束したことなど、重点的に取り組んでいきたい事業を組み入れました（肉付予算）。

ここでは、四月～九月までのお金の動きをお知らせします。

▼特別会計 (単位: 百万円)

歳入	執行率(%) 収入済額	予算現額	執行率(%) 支出済額	歳出
	6.5% 702	土地区画整理会計 10,795	35.1% 3,794	
	0.0% 0	団地造成会計 238	26.4% 63	
	51.0% 188	駐車場会計 369	41.3% 153	
	69.5% 192	母子寡婦福祉資金貸付会計 276	47.7% 132	
	31.7% 52,017	国民健康保険会計 163,969	43.5% 71,354	
	41.2% 71,422	老人医療会計 173,267	43.0% 74,555	
	34.7% 25,409	介護保険会計 73,301	39.7% 29,134	
	37.5% 415	基金会計 1,106	2.9% 32	
	0.9% 57	公共用地先行取得会計 6,169	21.6% 1,331	
	30.0% 380	砂防用地先行取得会計 1,265	30.8% 390	
	123.5% 236	交通災害共済会計 191	24.7% 47	
	35.0% 151,019	合計 430,946	42.0% 180,984	
	42.2% 171,874	公債会計 406,871	39.2% 159,457	

▼企業会計 (単位: 百万円)

収益的収入	執行率(%) 収入済額	収益的収支 予算現額	執行率(%) 支出済額	収益的支出
	50.9% 10,515	市立札幌病院 収入 20,655 支出 22,600	48.0% 10,858	
	30.8% 673	中央卸売市場 収入 2,182 支出 2,758	25.4% 700	
	63.0% 3,408	市バス・市電 収入 5,411 支出 8,047	32.5% 2,619	
	49.0% 23,757	地下鉄 収入 48,531 支出 61,159	29.5% 18,056	
	48.9% 22,713	水道 収入 46,447 支出 45,868	54.0% 24,761	
	45.8% 21,900	下水道 収入 47,818 支出 48,636	30.1% 14,622	

▼市債残高

(15年9月末現在)

一般会計	1,172,149
特別会計	7,180
企業会計	1,079,320
合 計	2,258,649

(単位: 百万円)

▼一時借入金残高

(15年9月末現在)

一般会計	0
特別会計	38
企業会計	9,340
合 計	9,378

(単位: 百万円)